

# 浦和区自治会連合会

## 令和2年度 会長講習会 報告書

1 日時 令和2年10月20日（火） 午前10時から12時まで

2 場所 市民会館うらわ 8階 コンサート室

3 出席者

藤枝会長・高橋副会長・石井副会長 他会長52名で計55名の出席であった。

4 会長講習会の概要

(1) 司会の石井桂太郎副会長が開会を宣言した。

(2) 会長あいさつ

藤枝陽子会長から本日の講習会への出席のお礼と最近、浦和区でも新型コロナの大規模なクラスターが発生したこと等の話があった。また、今日の講習会の前段で清水さいたま市長より新型コロナの状況報告をしていただくとのことで清水市長の出席に対し御礼の挨拶があった。

(3) 市長報告

・清水さいたま市長よりさいたま市における新型コロナウイルス感染症に対する感染状況の説明及びさいたま市の取り組み等についての報告があった。（報告終了後、市長退席）

(4) 前地自治会会長・浦和区防災アドバイザー協会会長の佐々木弘会長より本日の講習会の内容

は「新型コロナ対応の避難所運営・在宅避難について」の講習を行うとの説明があった。講習は2部構成で、1部は新型コロナの影響による避難所の感染対策、2部は非常用持ち出しの考え方について講習を行うとの説明があった。

(5) 1部 避難所の新型コロナ感染対策について

- ・始めに、佐々木会長が昨年の浦和西高校で実施した避難所運営訓練の映像を流し、今までの避難所運営の復習をした。
- ・本題に入り、浦和区防災アドバイザー協会の小田さんが避難所運営における感染対策についての講習を行った。
- ・新型コロナの影響により今までの避難所運営にプラスして感染予防対策が必要になった。
- ・避難所運営で気を付けることはまず避難者の受け入れ態勢である。受付時に避難者の健康状態を確認し、感染の疑いのある避難者は受付場所を分けるなど、受け入れ時から動線が重な

らないよう配慮する。

- ・感染の疑いのある避難者は物理的に隔離されたスペースに受け入れることにより、ゾーニング設定、衛生管理をする必要がある。そのために、ゾーニングの具体的な例示を示し説明を行った。
- ・また、新型コロナの影響により、避難所の収容人数が従来の3分の1以下になってしまうので、在宅避難、分散避難も考えなくてはならない。
- ・最後に避難所では新型コロナのクラスターを発生させないことが最も重要であるとのことであった。

#### (6) 2部 非常用持ち出し品の考え方

- ・2部の講師は浦和区防災アドバイザー協会の小沢さんに交代し、災害に備えての非常用持ち出し品の説明を行った。
- ・災害時に持ち出すものは生きるために必要なものから、また、人によって必要なものは違うので、それを知っておかなければならない。
- ・災害時に避難する場所は避難所だけとは限らない。コロナ禍の中、最近言われているのは親戚やホテル等の分散避難である。避難場所により必要な持ち出し品は違うので、それを把握しておかなければならない。
- ・また、実物を展示してあるので、講習会が終わったら見てくださいとのことであった。

#### (7) 三鷹市の事例紹介

- ・佐々木会長より東京都三鷹市の災害時在宅生活支援施設等についての説明があった。
- ・三鷹市では避難所の他に、市内12か所（公会堂、公園、広場等）を在宅避難者の生活に必要な拠点として整備している。また、生産緑地を災害時協力農地に登録する制度がある。
- ・また、三鷹市医師会と協力し、災害時の医療体制が確立されている。
- ・最後に佐々木会長より、三鷹市の取り組み事例を参考に、災害時における医療体制の構築、在宅避難者に対する生活支援施設の充実について、さいたま市に提言していくとのことであった。

## 5 閉会

高橋副会長が閉会の宣言をした。

令和2年10月27日 浦和区自治会連合会 会長 藤枝陽子